

第6回生駒市医療費等適正化検討部会会議録（要旨）

1. 日時 平成24年4月13日（金）午後4時から

2. 場所 生駒市役所 401会議室

3. 出席者

（委員）

伊木雅之部会長、関本美穂委員、北岡有喜委員

（事務局）

田中国保年金課長補佐、小林国保係長

4. 議事内容

（1）健康づくり推進員に対する啓発について

①健康づくり推進員研修会

②アンケート調査の実施

（2）推進専門部会の中間報告について

（3）医療費等分析の報告について

（4）医療費適正化に対する取り組みについて

（5）その他

5. 審議案件

【事務局からの報告】

- ジェネリック利用差額通知の効果資料
- 療養費レセプト点検の状況
- ジェネリック講演会を薬剤師対象か、一般向けに7月開催
- 市HPトップの右隅への掲載準備中
- 日本の長寿について、高血圧が死亡の1位で医療費的にも効果がある。
- 高脂血症、腎不全、高血圧を併せ持つ人が多い。
- ジェネリック利用差額通知の効果があり、あるという結果が出ていて、経費の回収ができておりそのデータを活用できるとすれば大きな利益であるともいえる。
- 糖尿病の放置者について特定健診のデータと突合データは保険者しかわからないので貴重なデータとなる。

【案件1】 健康づくり推進員に対する啓発について

① 健康づくり推進員研修会

- 総会の前に講演会を開催し、アンケートを実施する。
- 講演をビデオで撮影する。
- タイトルは「健康と医療－医療費について考える－」ということで、内容は、日本の健康水準、満足度が低い、そこそこの値段でいい医療が受けられる。特定健診についての話、生活習慣病になると長期になりお金がかかる。医療保険制度の崩壊を防ぐため、どれだけ医療費を負担できるのか、生駒市の現状、かかりつけ医を利用しよう、ジェネリックを利用しよう、健康になってお金を節約しようという方向で講演を行う。
- 未病の段階で戻してやる。病気になってしまうとお金がかかる。

- ヘルスケア倶楽部や、ウォーキングラリーを活用し、賞状を出すなどするとよい。
- FACEBOOKの活用、サイト内で参加者が管理を行うとよい。
- 健康づくり推進員でもプロジェクトをもっていると思うが、ひろがり、つながりがもてない。
- ヴァーチャルにつくっていけるとつながりがある。

②アンケート調査の実施

- アンケート結果を別途活用して報告する。
- 4月末までに回収し、5月に結果集計を行う。

【案件2】 推進専門部会の中間報告について

- まとめの方向性。医療の使い方を啓発どのような医療費データがあるか、現状についてまとめるといったことを1回目、2回目で話し合った。医療費分析を行って市民への啓発や、医療機関への情報提供を行う。医療費データとしては最終的にはジェネリックの差額通知を行った分でのデータが1年分程貯まって活用できる。必要があれば連合会や、国のデータベースのデータを活用する。関本先生の分析データから通院日数が多い、1回の医療費が高い、複数受診多いということから対応をとってかかりつけ医を推進する。
- 健康づくり推進員を対象に啓発（研修、アンケート）を行う。
- 啓発リーフレットを作成し、3月の保険証発送に同封。
- HPをつくろう。医療費メーターなどを掲載し、ページをつくる。
- 広報に頻繁にデータを掲載する。
- アンケートを行い、結果を活用する。
- 医療費データの分析を始めていかなければならない。
- 以上のような6回の会議の内容について事務局でまとめていただく。

【案件3】 医療費等分析の報告について及び【案件4】 医療費適正化に対する取り組みについて

- データの分析について、アウトカムは医療費。医療費が下がるという結果に向けてアクションプランをどうするかを考えなければならない。
- 市長から表彰状を出すことで効果がでる。
- 京都医療センターのボランティアの人へは院長との年2回の食事会、表彰状、ボランティア室の提供などを行いやってくれている人のやる気を教えてもらう。ボランティアの人の病院に対する帰属意識が高い。
- みんなで健康になるためのお世話係をかって出る人。推進員と別でもよいので生駒の健康コミュニティができあがればよい。
- 自分も人も元気になる活動。ジェネリックを利用した患者さんを表彰する。
- 無理にかからないのではなく、かからなくていい状況である人を表彰してはどうか。
- ウォークラリーに参加するとか。みんなで参加、月1回生駒の山にのぼる。12個貯まったら表彰状をだす。
- 健康推進員は休日も活動しているか。市の職員ではなく自分達でしてもらう。
- 推進員に補助金は出していないが、トップの女性のやる気にみなさんついてくる。
- 健康増進イベントで、企業からプレゼンテーションをしてもらい、最新体脂肪計などを展示、特定健診もして、1日だけ集めて健康イベント行うなど。
- 宇治市のうー茶んフェスタは連絡会で開催。1階から3階のボランティアの人によるブース

を回ると一茶んマークシールがもらえて3枚集めると記念品としてペットボトルキャップで作成したマグネットがもらえる。今回は参加者が多く、共通診察券も3箇所が発行。

- 健康課がアイデアをもって参加すればいけると思う、スカイウォークにエコネットが出店しているように健康関係の出店もつくればと思う。
- 初期は市が始めて、市民運営型になれば参加者モチベーションの高くなる。
- 人を育てていく、まずは健康推進員との関わりから進めていく。
- 分析よりも医療費メーターを出す。
- 前年実績で、前年を100として前年比で0%で黄色、5%超えで赤色。月1回4ヶ月前のデータでも構わない。
- 多くの人が使っていると医療費が増える、病気の人が少ないと使わないということで、主な疾患、3つぐらいの病気ごとの医療費メーターと全体の医療費メーターがあるとよい。
- 糖尿病で足をなくす、失明すると言っても、自分はならないと思っている。
- 日本人は痩せている人でも糖尿病の人がいる。糖尿病の知識のページがあってもよい。
- 実現可能で、わかりやすいので医療費メーターを出せば全国で初の取り組みとなる。

【今後について】

- 今後について、市ではどう考えているか、会議の開催について、半年なので毎月でしたが、2ヶ月に1度でもよいのではないか。
- 半年後に医療費メーターを載せるとしてスケジュールを決めてはどうか。
- 医療費メーターと付随するページについて考えていく。
- ビデオ撮影した分をユーチューブにアップする。
- 5月に講演の報告で1回、夏休みに1回でいいのではないか。金曜日がよい。
- 次回は、第2金曜の5月11日午後3時から。

(まとめ)

- ・ 今年度は2ヶ月に1回ぐらい開催。
- ・ 医療費データの分析、活用について考える。
- ・ 保健事業との絡み、ボランティアの育成について提言していく。